

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

教科	教育科目	教育内容	1年	実務 経験	経験 内容	2年	実務 経験	経験 内容	合計	
一般教養	(数 学)	(基 礎 数 学)	(30)						(30)	
	(教 養)	(教 養)	(30)			(30)			(60)	
	小 計		(60)	(0)		(30)	(0)		(90)	
学 科	自動車工学	自動車原動機	60	○	自動車 会社勤務				60	
		自動車構造	60	○	自動車 会社勤務				60	
		電装品構造	30	○	自動車 会社勤務				30	
		自動車力学	45	○	自動車 会社勤務				45	
		自動車電子装置				60	○	自動車 会社勤務	60	
		自動車材料・油脂	30	○	自動車 会社勤務				30	
		自動車数学				60	○	自動車 会社勤務	60	
		製 図	15	○	自動車 会社勤務				15	
	自動車整備	エンジン整備	30	○	自動車 会社勤務				30	
		シャシ整備	30	○	自動車 会社勤務	30	○	自動車 会社勤務	60	
		電装品整備				30	○	自動車 会社勤務	30	
		電子装置整備				30	○	自動車 会社勤務	30	
		故障原因探究				30	○	自動車 会社勤務	30	
	機器の構造・取扱	機器の構造・取扱				30	○	自動車 会社勤務	30	
	自動車検査	自動車検査				30	○	自動車 会社勤務	30	
	自動車整備に関する法規	自動車法規				30	○	自動車 会社勤務	30	
	小 計		300	300		330	330		630	
	実 習	工作作業	手仕上げ・機械・工作	30	○	自動車 会社勤務		○	自動車 会社勤務	30
		測定作業	測定作業	45	○	自動車 会社勤務		○	自動車 会社勤務	45
自動車整備作業		エンジン点検・分解・組立・調整・検査	240	○	自動車 会社勤務	180	○	自動車 会社勤務	420	
		シャシ "	240	○	自動車 会社勤務	180	○	自動車 会社勤務	420	
		電装 "	75	○	自動車 会社勤務	180	○	自動車 会社勤務	255	
		故障原因探究				30	○	自動車 会社勤務	30	
自動車検査作業		自動車検査作業				60	○	自動車 会社勤務	60	
小 計		630	630		630	630		1,260		
合 計			930 (60)	930 (0)		960 (30)	960 (0)		1,890 (90)	

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	1年 数学
教員名	竹下 朋宏
実務経験	無し
資格	高等学校教諭一種免許(公民)
開講年度	2023(令和5年度)
開講期	後期
授業科目分類	必修
授業時間数	30H
授業方法	講義
使用教科書	・整研出版社(計算問題を解くノウハウ)
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・計算問題を解くのに必要な公式(6H) ・SI化で変更になる単位と用語(6H) 荷重、圧力、ギヤ比、性能曲線、走行性能、トルク、排気量、バルブ、電気問題を解くノウハウ(18H)等 自動車整備士に関連する計算問題を学びます。
到達目標	<p>* 時間数と試験をクリアすることにより、自動車整備士としての計算問題を解く知識を身に付ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自動車整備士として基礎的な計算問題を解く知識を身に付け整備士として働く準備と心構えが出来ていること。 2. 基礎的な情報処理能力を身に付けていること。 3. 自動車整備士として専門的な教養とコミュニケーション力を身に付けていること。 4. 本校の校訓『何処の場に在りてもなくてはならぬ人となれ』を想い行動できること。 5. 自動車整備士の仕事に誇りと感謝の気持ちを持つこと。
成績評価	<p>* 授業時間数をクリアしていること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。 2. 定期試験は、各学年の前期及び後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3. 成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 <p>* 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。</p>

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	1年 教養
教員名	竹下 朋宏
実務経験	無し
資格	高等学校教諭一種免許(公民)
開講年度	2023(令和5年度)
開講期	
授業科目分類	必修科目
授業時間数	30H
授業方法	講義
使用教科書	実教出版(専修・各種学校生のための マイロード21 改訂版)
授業の概要	<p>I 職業観と社会人になる心構え(4H) II 業種と職種(6H) III 就職活動(10H) IV 入社試験(10H) 上記に関連する学生としての自覚と社会人になるための教養を学びます。</p>
到達目標	<p>* 時間数と試験をクリアすることにより、学生としての自覚と社会人になるための教養を身に付ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自動車整備士として基礎的な知識を身に付け整備士として働く準備と心構えが出来ていること。 2. 基礎的な情報処理能力を身に付けていること。 3. 自動車整備士として専門的な教養とコミュニケーション力を身に付けていること。 4. 本校の校訓『何処の場に在りてもなくてはならぬ人となれ』を思い行動できること。 5. 自動車整備士の仕事に誇りと感謝の気持ちを持つこと。
成績評価	<p>* 授業時間数をクリアしていること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。 2. 定期試験は、各学年の前期及び後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3. 成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 <p>* 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。</p>

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	1年自動車原動機
教員名	片淵 正美
実務経験	有(自動車会社勤務)
資格	2級ガソリン自動車整備士
開講年度	2023(令和5年度)
開講期	前期・後期
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	60
授業方法	講義、
使用教科書	日本自動車整備振興会(三級、二級、ガソリン、ジーゼルエンジン教科書) 公論出版(練習問題集、実力判定問題集)
授業の概要	1.ガソリン及びジーゼルエンジンの燃焼方式、バルブタイミング(8H) 2.エンジン性能、燃焼過程、排出ガス(8H) 3.エンジン本体の機能、働き(8H) 4.潤滑装置(3H) 5.冷却装置(3H) 6.燃料装置LPG(2H) 7.コモンレール式高圧燃料噴射装置(8H) 8.ユニット・インジェクタ式高圧燃料噴射装置(8H) 7.吸、排気装置(4H) 8.電子制御装置(8H)
到達目標	* 時間数と試験をクリアすることにより、整備士としての基礎整備作業を身に付ける。 1. 自動車整備士として基礎的な知識と技術を身に付け即戦力として働く準備と心構えが出来ていること。 2. 基礎的な情報処理能力を身に付けていること。 3. 自動車整備士として専門的な教養とコミュニケーション力を身に付けていること。 4. 本校の校訓「何処の場に在りてもなくてはならぬ人となれ」を想い行動できること。 5. 自動車整備士の仕事に誇りと感謝の気持ちを持つこと。
成績評価	* 授業時間数をクリアしていること。 1、学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。 2、定期試験は、前期及び後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3、成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 * 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	1年 自動車構造
教員名	山田 健太郎
実務経験	有(自動車販売会社勤務)
資格	一級自動車整備士 高等学校教諭特別免許(工業)
開講年度	2023年(令和5年度)
開講期	前期・後期
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	60H
授業方法	学科授業・前期中間試験・前期期末試験・後期中間試験・後期期末試験
使用教科書	二級自動車シャン(日本自動車整備振興会連合会) 自動車整備士2級ガソリン・ジーゼル練習問題集(公論出版)
授業の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 動力伝達装置(14H) 2. アクスル及びサスペンション(6H) 3. ステアリング装置(10H) 4. ホイール及びタイヤ(6H) 5. ホイール・アライメント(12H) 6. ブレーキ(12H)
到達目標	<p>* 時間数と試験をクリアすることにより、二級自動車整備士としての基礎知識を身に付ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自動車整備士として基礎的な知識を身に付け整備士として働く準備と心構えが出来ていること。 2. 基礎的な情報処理能力を身に付けていること。 3. 自動車整備士として専門的な教養とコミュニケーション力を身に付けていること。 4. 本校の校訓『何処の場に在りてもなくてはならぬ人となれ』を想い行動できること。 5. 自動車整備士の仕事に誇りと感謝の気持ちを持てること。
成績評価	<p>* 授業時間数をクリアしていること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。 2. 定期試験は、各学年の前期及び後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3. 成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 <p>* 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。</p>

授業概要	授業時間60H 教育内容
1	総論 1自動車の発進 2自動車の性能
2	動力伝達装置 2構造・機能 1)MTのクラッチ 2)AT
3	3)作動制限型ディファレンシャル 4)インタ・アクスル・ディファレンシャル
4	3)整備
5	二級シャシ国家試験問題復習
6	前期中間試験
7	復習
8	アクスル及びサスペンション 2構造・機能 1)サスペンションの性能
9	2)エア・スプリング型サスペンション 3)電子制御式サスペンション
10	3整備
11	ステアリング装置 2構造・機能 1)旋回性能 2)パワー・ステアリング
12	3整備
13	二級シャシ国家試験問題復習
14	前期総合試験
15	復習

16	ホイール及びタイヤ 2構造・機能 1)ホイール
17	2)タイヤ
18	3整備
19	ホイール・アライメント 2構造・機能 1)前後輪の相互関係
20	二級シャシ国家試験問題復習
21	後期中間試験
22	復習
23	2)キャンバ 3)キャスタ 4)キング・ピン傾角
24	5)トー 6)タイロッド長とトーの関係 7)スラスト角と後輪のトーの関係
25	ブレーキ装置 2構造・機能 1)ブレーキの方式
26	2)電子制御 3)補助ブレーキ
27	3整備
28	二級シャシ国家試験問題復習
29	後期総合試験
30	復習

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	1年 電装品構造
教員名	末次 克文
実務経験	有(自動車会社勤務)
資格	2級ガソリン自動車整備士・2級ジーゼル自動車整備士
開講年度	2023年
開講期	前期 (30時間)
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	30時間
授業方法	講義
使用教科書	日本自動車整備振興会連合会(二級ガソリン・ジーゼル自動車エンジン編) 資料配布
授業の概要	<p>* 講義</p> <p>(1) 電気基礎(6h) 電源、電流、電圧、直流、交流、抵抗を理解させる。</p> <p>(2) 発電機(6h) 交流発電の原理、構造、点検方法を理解させる。</p> <p>(3) 始動装置(6h) 始動装置の構造、電流の流れ、点検方法を理解させる。</p> <p>(4) 点火装置(6h) 高電圧発生 の原理、構造、点検方法を理解させる。</p> <p>(5) 故障診断(6h) 各装置の不具合現象、影響を理解させ、適切な診断方法を理解させる。</p>
到達目標	<p>* 時間数と試験をクリアすることにより、二級自動車整備士としての電気基礎を身に付ける。</p> <p>1. 自動車整備士として基礎的な電気基礎知識を身に付け、整備士として働く準備と心構えが出来ていること。</p> <p>2. 電気の基礎知識を身に付けること。</p> <p>3. 電気装置の構造を理解し各装置の点検作業の知識を身に付けること。</p> <p>4. 電気 の特性を理解し、安全作業の知識を身に付けること。</p> <p>5. 各装置の寿命、不具合を理解し適切な診断能力を身に付けること。</p>
成績評価	<p>* 授業時間数をクリアしていること。</p> <p>1. 学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。</p> <p>2. 定期試験は、前期及び後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。</p> <p>3. 成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。</p> <p>* 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。</p>

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	1年 自動車力学
教員名	片淵 正美
実務経験	有(自動車会社勤務)
資格	2級ガソリン自動車整備士
開講年度	2023
開講期	前期・後期
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	45時間
授業方法	講義
使用教科書	計算を解くノウハウ(整研出版社) 及び 自動車整備士2級問題集(公論出版) 資料配布
授業の概要	<p>* 講義</p> <p>(1) SI化で変更になった単位と用語(1h) 旧単位から新単位に変更された点を理解させる。</p> <p>(2) SI単位及び接頭語(2h) 意味や使い方を理解させる。</p> <p>(3) 用語(2h) 各問題で必要な特殊用語(意味)を理解させる。</p> <p>(4) 計算能力及び単位の変換(20h) 四則演算、分数、方程式等、計算方法及び時速から秒速等、単位の変換を理解させる。</p> <p>(5) 国家試験問題(20h) 二級自動車整備士の問題を理解させる。</p>
到達目標	<p>* 時間数と試験をクリアすることにより、二級自動車整備士としての計算能力を身に付ける。</p> <p>1. 自動車整備士として基礎的な計算能力を身に付け、整備士として働く準備と心構えが出来ていること。</p> <p>2. 国家試験の計算問題に対応できること。</p> <p>3. 整備作業に必要な計算能力を身に付けること。(液体の濃度及び圧力計算等)</p> <p>4. 回転数及びモーメント(力)の計算を行うことで、常識的な判断が出来る能力を身に付けること。</p>
成績評価	<p>* 授業時間数をクリアしていること。</p> <p>1. 学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。</p> <p>2. 定期試験は、前期及び後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。</p> <p>3. 成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。</p> <p>* 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。</p>

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	1年自動車材料、油脂
教員名	片淵 正美
実務経験	有(自動車会社勤務)
資格	2級ガソリン自動車整備士
開講年度	2023(令和5年度)
開講期	前期
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	30
授業方法	講義、
使用教科書	日本自動車整備振興会(三級、二級、ガソリン、ジーゼルエンジン教科書、二級自動車シャシ) 日本自動車整備振興会(基礎自動車工学) 公論出版(練習問題集、実力判定問題集)
授業の概要	1. 自動車の材料(6H) 2. 自動車の機械要素(6H) 3. 燃料及び潤滑材(6H) 4. 自動車の諸元(6H) 5. バルブタイミング問題(6H)
到達目標	* 時間数と試験をクリアすることにより、整備士としての基礎整備作業を身に付ける。 1. 自動車整備士として基礎的な知識と技術を身に付け即戦力として働く準備と心構えが出来ること。 2. 基礎的な情報処理能力を身に付けていること。 3. 自動車整備士として専門的な教養とコミュニケーション力を身に付けていること。 4. 本校の校訓「何処の場に在りてもなくてはならぬ人となれ」を想い行動できること。 5. 自動車整備士の仕事に誇りと感謝の気持ちを持てること。
成績評価	* 授業時間数をクリアしていること。 1、学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。 2、定期試験は、前期及び後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3、成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 * 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	1年 製図
教員名	片淵 正美
実務経験	有(自動車会社勤務)
資格	2級ガソリン自動車整備士
開講年度	2023
開講期	前期 (半期)
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	15時間
授業方法	講義・実技
使用教科書	日本自動車整備振興会連合会(二級講習用 製図編) 配布資料
授業の概要	<p>* 講義及び実技(図面の作成)</p> <p>(1)製図の概要(1h) 製図の必要性を理解させる。</p> <p>(2)基本(1)(1h) 図形投影方法、用紙の大きさと尺度、線の大きさと用途を理解させる。</p> <p>(3)基本(2)(1h) 形状、寸法(記号含む)、表し方、幾何学交差及び表面性状を理解させる。</p> <p>(4)図面に必要な付帯文字等の書き方(5h) 文字・数字・記号の書き方を習得させる。</p> <p>(5)図面作成(5h) 第三角法で図面の作成方法を習得させる。</p> <p>(6)その他(2h) 図面を通して、部品を立体的に理解できる能力を習得させる。</p>
到達目標	<p>* 時間数と試験をクリアすることにより、二級自動車整備士としての基礎製図作業を身に付ける。</p> <p>1. 自動車整備士として基礎的な製図知識と技術を身に付け、整備士として働く準備と心構えが出来ていること。</p> <p>2. 第三角法で図面が作成できること。</p> <p>3. 図面を通して、形状や大きさが理解できること。</p> <p>4. 図面上の部品と実際の部品が同一のものが判断できること。</p> <p>5. 第三者へ図面を通して、部品の詳細情報が伝えられること。</p>
成績評価	<p>* 授業時間数をクリアしていること。</p> <p>1. 学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。</p> <p>2. 定期試験は、前期及び後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。</p> <p>3. 成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。</p> <p>* 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。</p>

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	1年自動車エンジン整備
教員名	片淵 正美
実務経験	有(自動車会社勤務)
資格	2級ガソリン自動車整備士
開講年度	2023(令和5年度)
開講期	後期
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	30
授業方法	講義、
使用教科書	日本自動車整備振興会(三級、二級、ガソリン、ディーゼルエンジン教科書、) 公論出版(練習問題集、実力判定問題集)
授業の概要	1. エンジン本体の点検、整備(8H) 2. 潤滑装置の点検、修正(3H) 3. 冷却装置の点検、修正(3H) 4. 燃料系統の部品の取り外し、取り付け(2H) 5. 吸排気装置の点検、修正(6H) 6. 電子制御装置点検(8H)
到達目標	* 時間数と試験をクリアすることにより、整備士としての基礎整備作業を身に付ける。 1. 自動車整備士として基礎的な知識と技術を身に付け即戦力として働く準備と心構えが出来ていること。 2. 基礎的な情報処理能力を身に付けていること。 3. 自動車整備士として専門的な教養とコミュニケーション力を身に付けていること。 4. 本校の校訓「何処の場に在りてもなくてはならぬ人となれ」を想い行動できること。 5. 自動車整備士の仕事に誇りと感謝の気持ちを持つこと。
成績評価	* 授業時間数をクリアしていること。 1. 学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。 2. 定期試験は、前期及び後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3. 成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 * 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	1年 シャン整備
教員名	山田 健太郎
実務経験	有(自動車販売会社勤務)
資格	一級自動車整備士 高等学校教諭特別免許(工業)
開講年度	2023年(令和5年度)
開講期	前期
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	30H
授業方法	学科授業・前期中間試験・前期期末試験
使用教科書	三級自動車シャン(日本自動車整備振興会連合会) 自動整備士三級シャン練習問題集(公論出版) 三級自動車シャン講習用図集(日本自動車整備振興会連合会)
授業の概要	1. 動力伝達装置(8H) 2. アクスル及びサスペンション(8H) 3. ステアリング装置(2H) 4. ホイール及びタイヤ(2H) 5. ホイール・アライメント(2H) 6. ブレーキ装置(2H) 7. シャンの点検・整備(6H)
到達目標	* 時間数と試験をクリアすることにより、二級自動車整備士としての基礎知識を身に付ける。 1. 自動車整備士として基礎的な知識を身に付け整備士として働く準備と心構えが出来ていること。 2. 基礎的な情報処理能力を身に付けていること。 3. 自動車整備士として専門的な教養とコミュニケーション力を身に付けていること。 4. 本校の校訓『何処の場に在りてもなくてはならぬ人となれ』を思い行動できること。 5. 自動車整備士の仕事に誇りと感謝の気持ちを持つこと。
成績評価	* 授業時間数をクリアしていること。 1. 学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。 2. 定期試験は、各学年の前期及び後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3. 成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 * 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。

授業概要	授業時間30H 教育内容
1	総論 1. 自動車の原理と性能 2. 自動車の構成 3. 自動車の安全装置
2	動力伝達装置 2. 構造・機能 1)クラッチ 2)トランスミッション (1)MT (2)AT
3	3)トランスファ 4)プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフト及びユニバーサル・ジョイント
4	5)ファイナル・ギヤ及びディファレンシャル 3整備
5	アクスル及びサスペンション 2構造・機能 1)アクスル及びサスペンション (1)車軸懸架式 (2)独立懸架式
6	前期中間試験
7	復習
8	2)スプリング 3)ショック・アブソーバ 3整備
9	ステアリング装置 2構造・機能 1)ステアリング操作機構 2)ステアリング・ギア機構 3)ステアリング・リンク機構 4)パワー・ステアリング
10	ホイール及びタイヤ 2構造・機能 1)ホイール 2)タイヤ 3)タイヤに起こる異常現象 4)ホイール・バランス 3整備
11	ホイール・アライメント 2構造・機能 1)キャンバ 2)キャスタ 3)キング・ピン傾角 4)トー 5)スラスト角 6)セット・バック 7)左右のホイールの切れ角(ターニング・ラジラス) 3整備
12	ブレーキ装置 2構造・機能 1)フット・ブレーキ (1)油圧式ブレーキ (2)安全装置 (3)制動倍力装置 2)パーキング・ブレーキ 3整備
13	三級シヤシ国家試験問題復習
14	前期総合試験
15	復習

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	1年 工作作業
教員名	末次 克文
実務経験	有(自動車会社勤務)
資格	2級ガソリン自動車整備士・2級ジーゼル自動車整備士
開講年度	2023年
開講期	後期
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	30時間
授業方法	実習・実技
使用教科書	日本自動車整備振興会連合会(基礎自動車整備作業) 配布資料
授業の概要	<p>* クラスを2班に分け、1つの教材に1名又は数名を割り当て、実習体験をさせる。</p> <p>(1) 電気工具(5h) カッターを使用し金属のカット及びドリルでの穴あけ加工を行う。</p> <p>(2) 手作業(5h) カット及び穴あけ加工した金属を手作業で加工面のヤスリ加工及び修正作業を行う。</p> <p>(3) 溶接作業(5h) ガス溶接及びアーク溶接によりカットした金属の溶接作業を行う。</p> <p>(4) 研磨作業(5h) 金属の表面及び溶接面を手作業及び電動グラインダー等で研磨作業を行う。</p> <p>(5) 塗装作業(5h) 加工した部品に塗装をする。</p> <p>(6) 組立作業(5h) 1～5までの加工した部品を組み立て製品を完成させる。</p>
到達目標	<p>* 時間数と試験をクリアすることにより、二級自動車整備士としての基礎整備作業を身に付ける。</p> <p>1. 自動車整備士として基礎的な工作技術を身に付け整備士として働く準備と心構えが出来ていること。</p> <p>2. 金属のカット及び穴あけ加工ができること。</p> <p>3. 金属の研磨作業(手作業によるヤスリがけ・電動グラインダー)ができること。</p> <p>4. 塗装作業ができること。(塗料を均一に塗布し、塗装表面の粗さが無いこと)</p> <p>5. 製品の組み立てを含む、最終仕上げができること。</p>
成績評価	<p>* 授業時間数をクリアしていること。</p> <p>1. 学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。</p> <p>2. 定期試験は、前期及び後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。</p> <p>3. 成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。</p> <p>* 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。</p>

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	1年測定作業
教員名	末次 克文
実務経験	有(自動車会社勤務)
資格	2級ガソリン自動車整備士・2級自動車整備士
開講年度	2023年
開講期	前期
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	45
授業方法	実習・実技
使用教科書	日本自動車整備振興会(三級、二級、ガソリン、ジーゼルエンジン教科書)配布資料
授業の概要	1. ノギス、マイクロメータ、シリンダゲージ、ダイヤルゲージ、シクネスゲージ等を使用し、各部品、部位の点検及び測定。(45H)
到達目標	<p>* 時間数と試験をクリアすることにより、整備士としての基礎整備作業を身に付ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自動車整備士として基礎的な知識と技術を身に付け即戦力として働く準備と心構えが出来ること。 2. 基礎的な情報処理能力を身に付けていること。 3. 自動車整備士として専門的な教養とコミュニケーション力を身に付けていること。 4. 本校の校訓「何処の場に在りてもなくてはならぬ人となれ」を想い行動できること。 5. 自動車整備士の仕事に誇りと感謝の気持ちを持つこと。
成績評価	<p>* 授業時間数をクリアしていること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。 2. 定期試験は、前期の期末に実施し、学生全員を対象とする。 3. 成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 <p>* 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。</p>

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	1年 エンジン整備作業
教員名	田崎 博之
実務経験	有(自動車会社勤務)
資格	高等学校教諭一種免許・2級ガソリン自動車整備士・2級ジーゼル自動車整備士
開講年度	2023(令和5年)
開講期	前期・後期
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	240
授業方法	実験・実習・実技
使用教科書	日本自動車整備振興会(三級、二級、ガソリン、ジーゼルエンジン教科書)配布資料
授業の概要	<p>* クラスを2班に分け、1つの教材に1名又は数名を割り当て、実習体験をさせる。</p> <p>(1)各工具の名称及び取り扱い方法。(7H) (2)各部を分解、組み立てにより、部品等の確認及び構造、働きを学習する。(120H) (3)各部や部品の点検、調整、及び各測定器により摩耗状態の確認。(113H)</p>
到達目標	<p>* 時間数と試験をクリアすることにより、整備士としての基礎整備作業を身に付ける。</p> <p>1. 自動車整備士として基礎的な知識と技術を身に付け整備士として働く準備と心構えが出来ること。 2. 基礎的な情報処理能力を身に付けていること。 3. 自動車整備士として基礎的な教養とコミュニケーション力を身に付けていること。 4. 本校の校訓「何処の場に在りてもなくてはならぬ人となれ」を想い行動できること。 5. 自動車整備士の仕事に誇りと感謝の気持ちを持てること。</p>
成績評価	<p>* 授業時間数をクリアしていること。</p> <p>1、学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。 2、定期試験は、前期及び後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3、成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 * 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。</p>

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	1年 シャン實習
教員名	山田 健太郎
実務経験	有(自動車販売会社勤務)
資格	一級自動車整備士 高等学校教諭特別免許(工業)
開講年度	2023年(令和5年度)
開講期	前期・後期
授業科目分類	必修科目
授業時間数	240H
授業方法	企業実習・実習(実技)・前期中間試験・前期期末試験・後期中間試験・後期期末試験
使用教科書	三級自動車シャン(日本自動車整備振興会連合会) 二級自動車シャン(日本自動車整備振興会連合会) 整備書・配線図
授業の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 動力伝達装置(40H) 2. アクスル及びサスペンション(40H) 3. ステアリング装置(40H) 4. ホイール及びタイヤ(40H) 5. ホイール・アライメント(40H) 6. ブレーキ装置(30H) 7. 故障原因探究(10H)
到達目標	<p>* 時間数と試験をクリアすることにより、二級自動車整備士としての基礎整備作業を身に付ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自動車整備士として基礎的な知識と技術を身に付け即戦力として働く準備と心構えが出来ていること。 2. 基礎的な情報処理能力を身に付けていること。 3. 自動車整備士として専門的な教養とコミュニケーション力を身に付けていること。 4. 本校の校訓『何処の場に在りてもなくてはならぬ人となれ』を想い行動できること。 5. 自動車整備士の仕事に誇りと感謝の気持ちを持つこと。
成績評価	<p>* 授業時間数をクリアしていること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。 2. 定期試験は、各学年の前期及び後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3. 成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 <p>* 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。</p>

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	1年 電装整備作業
教員名	末次 克文
実務経験	有(自動車会社勤務)
資格	2級ガソリン自動車整備士・2級ジーゼル自動車整備士
開講年度	2023年
開講期	前期・後期
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	75時間
授業方法	実験・実習・実技
使用教科書	日本自動車整備振興会連合会(二級・三級ガソリン自動車エンジン編) 配布資料
授業の概要	<p>* クラスを2班に分け、1つの教材に1名又は数名を割り当て、実習体験をさせる。</p> <p>(1) 電気装置の概要(14h) 電気装置の原理及び役割を理解させる。</p> <p>(2) 構造(14h) 各部品の名称、構造、機能を理解させる。</p> <p>(3) 点検(14h) 各部品及びセンサーの状態、機能の点検方法を理解させる。</p> <p>(4) 脱着・調整(14h) 各部品及びセンサーを脱着し、交換、調整方法を理解させる。</p> <p>(5) 故障探究(14h) 故障発生時の不具合現象及影響を理解させ、適切な診断方法を理解させる。</p> <p>(6) その他(5h) 作業上の注意事項、安全作業及び整理整頓等、プロ意識を習得させる。</p>
到達目標	<p>* 時間数と試験をクリアすることにより、二級自動車整備士としての基礎整備作業を身に付ける。</p> <p>1. 自動車整備士として基礎的な知識と技術を身に付け整備士として働く準備と心構えが出来ていること。</p> <p>2. 基礎的な情報処理能力を身に付けていること。</p> <p>3. 自動車整備士として専門的な教養とコミュニケーション力を身に付けていること。</p> <p>4. 本校の校訓『何処の場に在りてもなくてはならぬ人となれ』を想い行動できること。</p> <p>5. 自動車整備士の仕事に誇りと感謝の気持ちを持つこと。</p>
成績評価	<p>* 授業時間数をクリアしていること。</p> <p>1. 学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。</p> <p>2. 定期試験は、前期及び後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。</p> <p>3. 成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。</p> <p>* 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。</p>

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	2年 教養
教員名	竹下 朋宏
実務経験	無し
資格	高等学校教諭一種免許(公民)
開講年度	2023(令和5年度)
開講期	前期
授業科目分類	必修
授業時間数	30
授業方法	講義
使用教科書	実教出版(専修・各種学校生のための マイロード21 改訂版)
授業の概要	I 内定から入社まで 社会人としての身だしなみ(6H)、職場の人間関係、職場のコミュニケーション(8H)、電話の対応、来客の対応(8H)、知識(8H)等 社会人としての教養を学びます。
到達目標	<p>* 時間数と試験をクリアすることにより、今後の自動車整備事業の健全な発達に資することにより、公共の福祉を増進することを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自動車整備士として社会人としての教養を身に付け即戦力として働く準備と心構えが出来ていること。 2. 基礎的な情報処理能力を身に付けていること。 3. 自動車整備士として専門的な教養とコミュニケーション力を身に付けていること。 4. 本校の校訓『何処の場に在りてもなくてはならぬ人となれ』を想い行動できること。 5. 自動車整備士の仕事に誇りと感謝の気持ちを持つこと。
成績評価	<p>* 授業時間数をクリアしていること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。 2. 定期試験は、後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3. 成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 <p>* 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。</p>

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	2年 自動車電子 I
教員名	田中 仁
実務経験	有(自動車会社勤務)
資格	2級ガソリン自動車整備士・2級ジーゼル自動車整備士
開講年度	2023(令和5年度)
開講期	前期
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	30
授業方法	講義
使用教科書	二級自動車シャシ(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会) 二級ジーゼル自動車(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会) 二級ガソリン自動車(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会)
授業の概要	(1) 電気装置(10H) 整流回路・定電圧回路・スイッチング増幅回路・発振回路・論理回路 (2) 電気装置(10H) 計器・警報装置・外部診断機・空気調和装置・電気装置の配線 (3) 安全装置及び付属装置(10H) SRSエアバッグ・シートベルト・カーナビゲーション・ETC
到達目標	* 授業時間数、学科試験をクリアすることにより二級自動車整備士として必要な知識・技術について習得させる。 (1) 専門的な知識を身に付けていること。 (2) 習得した知識・技術を、故障診断等に应用できること。 (3) 整備士となる準備・心構えができていること。
成績評価	* 授業時間数をクリアしていること。 1、学習の評価は、定期試験で決める。 2、定期試験は、前期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3、成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 * 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	2年 自動車電子Ⅱ
教員名	田中 仁
実務経験	有(自動車会社勤務)
資格	2級ガソリン自動車整備士・2級ジーゼル自動車整備士
開講年度	2023年度(令和5年度)
開講期	後期
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	30
授業方法	講義
使用教科書	三級ガソリン自動車(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会) 三級ジーゼル自動車(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会) 二級ガソリン自動車(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会) 二級ジーゼル自動車(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会)
授業の概要	(1) バッテリー(6H) (2) 始動装置(6H) (3) 充電装置(6H) (4) 予熱装置(6H) (5) 故障原因探求(6H)
到達目標	* 授業時間数、学科試験をクリアすることにより二級自動車整備士として必要な知識について習得させる。 (1) 専門的な知識を身に付けていること。 (2) 習得した知識を、故障診断等に应用できること。 (3) 自動車整備士として働く上で必要な教養・コミュニケーション能力を身に付けていること。 (4) 整備士となる準備・心構えができていること。
成績評価	* 授業時間数をクリアしていること。 1、学習の評価は、定期試験で決める。 2、定期試験は、後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3、成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 * 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	2年 自動車数学
教員名	山田 健太郎
実務経験	有(自動車会社勤務)
資格	1級小型自動車整備士 高等学校教諭特別免許(工業)
開講年度	2023年度(令和5年度)
開講期	前期・後期
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	60
授業方法	講義
使用教科書	基礎自動車工学(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会) 計算問題を解くノウハウ(整研出版社)
授業の概要	* 自動車整備士学科試験2級・3級に出題される計算問題について学ぶ (1) 単位(10H) (2) 基礎的な原理・法則(20H) (3) 自動車の諸元(15H) (4) 電気の基礎(15H)
到達目標	* 授業時間数、学科試験をクリアすることにより二級自動車整備士として必要な知識について習得させる。 (1) 専門的な知識を身に付けていること。 (2) 習得した知識を、故障診断等に応用できること。 (3) 自動車整備士として働く上で必要な教養・コミュニケーション能力を身に付けていること。 (4) 整備士となる準備・心構えができていること。
成績評価	* 授業時間数をクリアしていること。 1、学習の評価は、定期試験で決める。 2、定期試験は、前期及び後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3、成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 * 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	2年 シャン整備
教員名	田中 仁
実務経験	有(自動車会社勤務)
資格	2級ガソリン自動車整備士・2級ジーゼル自動車整備士
開講年度	2023(令和5年度)
開講期	前期
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	30
授業方法	講義
使用教科書	二級自動車シャン(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会) 三級自動車シャン(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会)
授業の概要	(1) 動力伝達装置(5H) (2) アクスル及びサスペンション(4H) (3) ステアリング装置(4H) (4) ホイール及びタイヤ(4H) (5) ホイール・アライメント(4H) (6) ブレーキ装置(5H) (7) フレーム及びボデー(4H)
到達目標	* 授業時間数、学科試験をクリアすることにより二級自動車整備士として必要な知識・技術について習得させる。 (1) 専門的な知識を身に付けていること。 (2) 習得した知識・技術を、故障診断等に応用できること。 (3) 整備士となる準備・心構えができていること。
成績評価	* 授業時間数をクリアしていること。 1、学習の評価は、定期試験で決める。 2、定期試験は、前期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3、成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 * 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	2年 電装品整備
教員名	山田 健太郎
実務経験	有(自動車会社勤務)
資格	1級小型自動車整備士 高等学校教諭特別免許(工業)
開講年度	2023年度(令和5年度)
開講期	前期
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	30
授業方法	講義
使用教科書	三級ガソリン自動車(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会) 三級ジーゼル自動車(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会) 二級ガソリン自動車(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会) 二級ジーゼル自動車(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会)
授業の概要	(1) 電装品の構造・機能(20H) 各装置や部品の役割、仕組みや作動について学ぶ。 (2) 整備・点検(10H) 各装置や部品の整備・点検方法について学ぶ。
到達目標	* 授業時間数、学科試験をクリアすることにより二級自動車整備士として必要な知識について習得させる。 (1) 専門的な知識を身に付けていること。 (2) 習得した知識を、故障診断等に応用できること。 (3) 自動車整備士として働く上で必要な教養・コミュニケーション能力を身に付けていること。 (4) 整備士となる準備・心構えができていること。
成績評価	* 授業時間数をクリアしていること。 1、学習の評価は、定期試験で決める。 2、定期試験は、前期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3、成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 * 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	2年 電子装置整備
教員名	田中 仁
実務経験	有(自動車会社勤務)
資格	2級ガソリン自動車整備士・2級ジーゼル自動車整備士
開講年度	2023(令和5年度)
開講期	後期
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	30
授業方法	講義
使用教科書	二級自動車シャシ(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会) 三級自動車シャシ(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会)
授業の概要	(1) 動力伝達装置(10H) 電子制御オートマチックトランスミッション (2) アクスル及びサスペンション(5H) 電子制御式サスペンション (3) ステアリング装置(5H) 電動式パワー・ステリング (4) ブレーキ装置(10H) アンチロックブレーキシステム(ABS) トラクションコントロールシステム(TCS) 電子制御式ブレーキシステム(EBS)
到達目標	* 授業時間数、学科試験をクリアすることにより二級自動車整備士として必要な知識・技術について習得させる。 (1) 専門的な知識を身に付けていること。 (2) 習得した知識・技術を、故障診断等に応用できること。 (3) 整備士となる準備・心構えができていること。
成績評価	* 授業時間数をクリアしていること。 1、学習の評価は、定期試験で決める。 2、定期試験は、前期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3、成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 * 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	2年 故障原因探究
教員名	山田 健太郎
実務経験	有(自動車会社勤務)
資格	1級小型自動車整備士 高等学校教諭特別免許(工業)
開講年度	2023年度(令和5年度)
開講期	後期
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	30
授業方法	講義
使用教科書	三級ガソリン自動車(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会) 三級ジーゼル自動車(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会) 二級ガソリン自動車(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会) 二級ジーゼル自動車(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会)
授業の概要	各装置・及び機能について良く理解した上で、効率的な診断を行うと共に診断の基本について理解する。 (1) 効率的な診断(6H) (2) 診断の基本(8H) (3) 故障診断の進め方(8H) (4) 故障診断の手順(8H)
到達目標	* 授業時間数、学科試験をクリアすることにより二級自動車整備士として必要な知識について習得させる。 (1) 専門的な知識を身に付けていること。 (2) 習得した知識を、故障診断等に応用できること。 (3) 自動車整備士として働く上で必要な教養・コミュニケーション能力を身に付けていること。 (4) 整備士となる準備・心構えができていること。
成績評価	* 授業時間数をクリアしていること。 1、学習の評価は、定期試験で決める。 2、定期試験は、後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3、成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 * 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	2年 機器の構造・取扱
教員名	田中 仁
実務経験	有(自動車会社勤務)
資格	2級ガソリン自動車整備士・2級ジーゼル自動車整備士
開講年度	2023(令和5年度)
開講期	後期
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	30
授業方法	講義
使用教科書	二級自動車シャシ(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会) 基礎自動車整備作業(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会)
授業の概要	(1) 整備の基礎知識(5H) 整備作業の目標・職場の労働安全・安全作業の心得・整備工場から発生する公害 (2) 基礎整備作業(4H) 基本作業(工具の名称・使用方法) (3) 測定作業(4H) (4) エンジン点検作業(5H) (5) シャシ点検作業(6H) (6) 検査用機械装置(6H) ブレーキテスタ・サイドスリップテスタ・スピードメータテスタ・音量計・ヘッドライトテスタ
到達目標	* 授業時間数、学科試験をクリアすることにより二級自動車整備士として必要な知識・技術について習得させる。 (1) 専門的な知識を身に付けていること。 (2) 習得した知識・技術を、故障診断等に应用できること。 (3) 整備士となる準備・心構えができていること。
成績評価	* 授業時間数をクリアしていること。 1、学習の評価は、定期試験で決める。 2、定期試験は、前期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3、成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 * 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	2年 自動車検査
教員名	田崎 博之
実務経験	有(自動車会社勤務)
資格	高等学校教諭一種免許 2級ガソリン自動車整備士・2級ジーゼル自動車整備士
開講年度	2023(令和5年度)
開講期	後期
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	30
授業方法	講義
使用教科書	・日本自動車整備振興会(二級自動車シャシ) ・全国自動車大学校・整備専門学校協会(自動車整備工具・機器)
授業の概要	I 道路運送車両法(8H) II 道路運送車両法施行規則(8H) III 自動車点検基準(6H) IV 道路運送車両の保安基準について(8H) 上記に関連する自動車の検査機器の構造と名称及び取扱い方法と判定基準を学びます。
到達目標	* 時間数と試験をクリアすることにより、今後の自動車整備事業の健全な発達に資することにより、公共の福祉を増進することを目標とする。 1. 自動車整備士として専門的な知識と技術を身に付け即戦力として働く準備と心構えが出来ていること。 2. 基礎的な情報処理能力を身に付けていること。 3. 自動車整備士として専門的な教養とコミュニケーション力を身に付けていること。 4. 本校の校訓『何処の場に在りてもなくてはならぬ人となれ』を想い行動できること。 5. 自動車整備士の仕事に誇りと感謝の気持ちを持つこと。
成績評価	* 授業時間数をクリアしていること。 1、学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。 2、定期試験は、後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3、成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 * 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	2年 自動車法規
教員名	田崎 博之
実務経験	有(自動車販売会社勤務)
資格	高等学校教諭一種免許 2級ガソリン自動車整備士・2級ジーゼル自動車整備士
開講年度	2023(令和5年度)
開講期	前期
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	30
授業方法	講義
使用教科書	日本自動車整備振興会(法令教材 令和4年度版)
授業の概要	<p>I 自動車整備士技能検定制度のあらまし(2H)</p> <p>II 自動車に対する法規制の概要(2H)</p> <p>III 道路運送車両法(10H)</p> <p>IV 道路運送車両法施行規則(8H)</p> <p>V 自動車点検基準(4H)</p> <p>VI 道路運送車両の保安基準について(4H)</p> <p>自動車整備士としての関係法令を理解させる。</p>
到達目標	<p>* 時間数と試験をクリアすることにより、今後の自動車整備事業の健全な発達に資することにより、公共の福祉を増進することを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自動車整備士として専門的な知識と技術を身に付け即戦力として働く準備と心構えが出来ていること。 2. 基礎的な情報処理能力を身に付けていること。 3. 自動車整備士として専門的な教養とコミュニケーション力を身に付けていること。 4. 本校の校訓『何処の場に在りてもなくてはならぬ人となれ』を想い行動できること。 5. 自動車整備士の仕事に誇りと感謝の気持ちを持つこと。
成績評価	<p>* 授業時間数をクリアしていること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。 2. 定期試験は、前期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3. 成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 <p>* 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。</p>

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	2年 エンジン整備作業
教員名	田崎 博之
実務経験	有(自動車販売会社勤務)
資格	高等学校教諭一種免許 2級ガソリン自動車整備士・2級ジーゼル自動車整備士
開講年度	2023(令和5年度)
開講期	前期・後期
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	180
授業方法	実験・実習・実技
使用教科書	日本自動車整備振興会(三級・二級ガソリン自動車 エンジン編) 配布資料
授業の概要	<p>* クラスを2班に分け、1つの教材に1名又は数名を割り当て、実習体験をさせる。</p> <p>(1)構造確認(21H) 各部及び各 부품の構造、機能を理解させる。</p> <p>(2)検査・測定(26H) 各部・各装置の検査・測定、部品などの寸法の計測をする。</p> <p>(3)点検(21H) 各部の状態、機能を点検する。</p> <p>(4)調整(14H) 各部の調整方法及び調整結果の確認要領などを習得させる。</p> <p>(5)分解・組立(77H) 各部を分解し組み立てることにより、構造・機能及びその要領を習得させる。</p> <p>(6)故障探究(14H) 故障の兆候により原因を探求し、修正を行う。</p> <p>(7)その他(7H) 手入れ、清掃、給油、加工実習などの作業要領について行う。</p>
到達目標	<p>* 時間数と試験をクリアすることにより、二級自動車整備士としての整備作業を身に付ける。</p> <p>1. 自動車整備士として専門的な知識と技術を身に付け即戦力として働く準備と心構えが出来ていること。</p> <p>2. 基礎的な情報処理能力を身に付けていること。</p> <p>3. 自動車整備士として専門的な教養とコミュニケーション力を身に付けていること。</p> <p>4. 本校の校訓『何処の場に在りてもなくてはならぬ人となれ』を思い行動できること。</p> <p>5. 自動車整備士の仕事に誇りと感謝の気持ちを持てること。</p>
成績評価	<p>* 授業時間数をクリアしていること。</p> <p>1、学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。</p> <p>2、定期試験は、各学年の前期及び後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。</p> <p>3、成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。</p> <p>* 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。</p>

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	2年 シヤシ整備作業
教員名	田中 仁
実務経験	有(自動車会社勤務)
資格	2級ガソリン自動車整備士・2級ジーゼル自動車整備士
開講年度	2023(令和5年度)
開講期	前期・後期
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	180
授業方法	実験・実習・実技
使用教科書	二級自動車シヤシ(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会) 三級自動車シヤシ(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会)
授業の概要	(1) シヤシの構造(50H) 各 부품の仕組み、役割について学ぶ。 (2) 脱着作業(60H) 各部品を車両から脱着させ、取り外し及び取り付け手順について学ぶ。 (3) 日常点検・法定点検(70H) 分解整備記録簿を用いて、エンジンルーム・室内・足廻り・下廻りの点検・調整について学ぶ。
到達目標	* 授業時間数、実技試験をクリアすることにより二級自動車整備士として必要な知識・技術について習得させる。 (1) 専門的な知識・技術を身に付けていること。 (2) 習得した知識・技術を、故障診断等に活用できること。 (3) 自動車整備士として働く上で必要な教養・コミュニケーション能力を身に付けていること。 (4) 整備士となる準備・心構えができていること。
成績評価	* 授業時間数をクリアしていること。 1、学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。 2、定期試験は、前期及び後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3、成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 * 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	2年 電装整備作業
教員名	山田 健太郎
実務経験	有(自動車会社勤務)
資格	1級小型自動車整備士 高等学校教諭特別免許(工業)
開講年度	2023年度(令和5年度)
開講期	前期・後期
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	180
授業方法	実験・実習・実技
使用教科書	二級ガソリン自動車(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会) 二級ジーゼル自動車(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会) 自動車用電気配線図
授業の概要	<p>(1) 電装品の構造(35H) 各部品の仕組み、役割について学ぶ。</p> <p>(2) 脱着作業(21H) 各部品を車両から脱着させ、取り外し及び取り付け手順について学ぶ。</p> <p>(3) 点検(42H) サーキットテスタ及び外部診断器等を用いて、各部品の単体点検及び車上点検の要領について学ぶ。</p> <p>(4) 故障探求(82H) 電気配線図の見方(配線色や臙装図等)について学び、電気回路について理解する。 電気配線図やサーキットテスタを用いて、故障している箇所の診断を行う。</p>
到達目標	<p>* 授業時間数、実技試験をクリアすることにより二級自動車整備士として必要な知識・技術について習得させる。</p> <p>(1) 専門的な知識・技術を身に付けていること。 (2) 習得した知識・技術を、故障診断等に应用できること。 (3) 自動車整備士として働く上で必要な教養・コミュニケーション能力を身に付けていること。 (4) 整備士となる準備・心構えができていること。</p>
成績評価	<p>* 授業時間数をクリアしていること。 1、学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。 2、定期試験は、前期及び後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3、成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 * 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。</p>

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	2年 故障原因探究整備作業
教員名	田中 仁
実務経験	有(自動車会社勤務)
資格	2級ガソリン自動車整備士・2級ジーゼル自動車整備士
開講年度	2023(令和5年度)
開講期	後期
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	30
授業方法	実験・実習・実技
使用教科書	日本自動車整備振興会(三級・二級ガソリン自動車 エンジン編) 配布資料
授業の概要	<p>* クラスを2班に分け、1つの教材に1名又は数名を割り当て、実習体験をさせる。</p> <p>(1)構造確認(2H) 各部及び各 부품の構造、機能を理解させる。</p> <p>(2)検査・測定(2H) 各部・各装置の検査・測定、部品などの寸法の計測をする。</p> <p>(3)点検(3H) 各部の状態、機能を点検する。</p> <p>(4)調整(1H) 各部の調整方法及び調整結果の確認要領などを習得させる。</p> <p>(5)分解・組立(7H) 各部を分解し組み立てることにより、構造・機能及びその要領を習得させる。</p> <p>(6)故障探究(14) 故障の兆候により原因を探求し、修正を行う。</p> <p>(7)その他(1H) 手入れ、清掃、給油、加工実習などの作業要領について行う。</p>
到達目標	<p>* 時間数と試験をクリアすることにより、二級自動車整備士としての整備作業を身に付ける。</p> <p>1. 自動車整備士として専門的な知識と技術を身に付け即戦力として働く準備と心構えが出来ていること。</p> <p>2. 基礎的な情報処理能力を身に付けていること。</p> <p>3. 自動車整備士として専門的な教養とコミュニケーション力を身に付けていること。</p> <p>4. 本校の校訓『何処の場に在りてもなくてはならぬ人となれ』を想い行動できること。</p> <p>5. 自動車整備士の仕事に誇りと感謝の気持ちを持つこと。</p>
成績評価	<p>* 授業時間数をクリアしていること。</p> <p>1. 学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。</p> <p>2. 定期試験は、各学年の前期及び後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。</p> <p>3. 成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。</p> <p>* 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。</p>

佐賀工業専門学校 シラバス

授業科目	2年 自動車検査作業
教員名	田中 仁
実務経験	有(自動車会社勤務)
資格	2級ガソリン自動車整備士・2級ジーゼル自動車整備士
開講年度	2023(令和5年度)
開講期	後期
授業科目分類	専門・必修
授業時間数	60
授業方法	実験・実習・実技
使用教科書	二級自動車シャシ(一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会)
授業の概要	<p>(1) 自動車検査(30H) 分解整備記録簿 自家用乗用車(別表第6)・自家用貨物自動車(別表第5)を用いて、エンジン ルーム・室内・足廻り・下廻りの点検・交換・調整について学ぶ。</p> <p>(2) 自動車検査機器(30H) 自動車検査機器(サイドスリップテスタ・ブレーキテスタ・スピードメータテスタ・ヘッドライトテスタ・ 排気ガステスタ・音量計)を用いて、道路運送車両の保安基準に適合しているか否かについて 理解する。</p>
到達目標	<p>* 授業時間数、実技試験をクリアすることにより二級自動車整備士として必要な知識・技術について習得させる。</p> <p>(1) 専門的な知識・技術を身に付けていること。 (2) 習得した知識・技術を、故障診断等に应用できること。 (3) 自動車整備士として働く上で必要な教養・コミュニケーション能力を身に付けていること。 (4) 整備士となる準備・心構えができていること。</p>
成績評価	<p>* 授業時間数をクリアしていること。 1、学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。 2、定期試験は、後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3、成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 * 成績不合格(60点未満)の学生については補習、追試で理解させる。</p>